

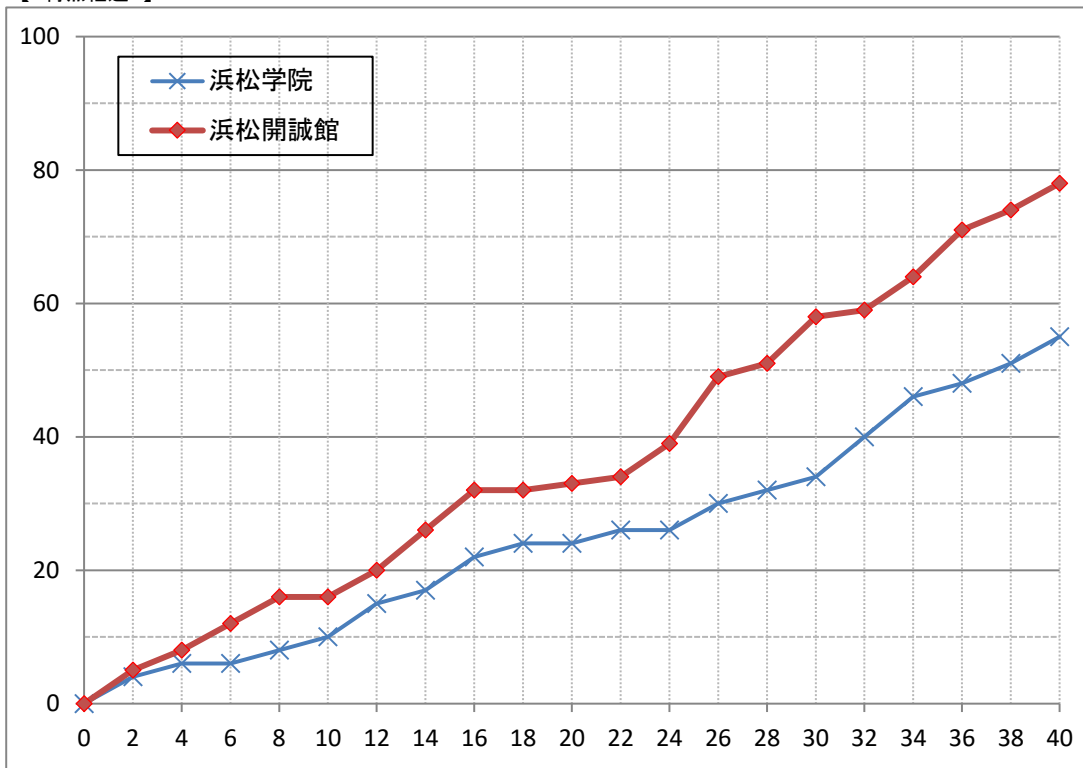
令和元年度東海高等学校バスケットボール新人大会静岡県予選兼静岡県高等学校バスケットボール新人大会県大会

【 得点経過 】

女子決勝リーグ

試合日	2020年1月26日
会場	三島南高校
コート	Eコート
開始時間	15:00

TEAM A		TEAM B
浜松学院 (西部)	55	78 浜松開誠館 (西部)
	10 - 16	
	14 - 17	
	10 - 25	
	21 - 20	
	OT	



TEAM A 浜松学院 (西部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	金井 凜 莉	13	3	1	2	0
5	*	金谷 百々子	2	0	1	0	3
7	DNP	鈴木 音葉	0	0	0	0	0
8	*	白井 凜	11	1	4	0	3
9	DNP	安井 陽加里	0	0	0	0	0
10	*	足立 玲那	12	0	6	0	3
11	*	関 百花	17	1	6	2	3
12	DNP	荻村 滯和	0	0	0	0	0
13	DNP	宮國 琉香	0	0	0	0	0
14	DNP	後藤 菜千	0	0	0	0	0
15	DNP	太田 莉緒	0	0	0	0	0
16	DNP	飛驒 彩未	0	0	0	0	0
17	DNP	丸山 紗絵香	0	0	0	0	0
18	DNP	川崎 比華留	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			55	5	18	4	12

TEAM B 浜松開誠館 (西部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	黒川 菜津奈	16	4	1	2	1
5	*	山本 涼菜	22	0	9	4	1
6	*	樋口 沙彩	13	0	6	1	1
7		中山 未悠	10	1	3	1	0
8	*	塩澤 小夏	8	2	1	0	1
9	*	中田 絵美	6	2	0	0	2
10	DNP	マツカラム 杏菜	0	0	0	0	0
11		西田 妃那	3	0	1	1	0
12	DNP	横山 つぐみ	0	0	0	0	0
13	DNP	佐藤 ほなみ	0	0	0	0	0
14	DNP	岩 永美空	0	0	0	0	0
15	DNP	山下 來郁	0	0	0	0	0
16	DNP	平井 朋美	0	0	0	0	0
17	DNP	松井 璃々	0	0	0	0	0
18	DNP	水谷 光里	0	0	0	0	0
19	DNP	滝川 美里香	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			78	9	21	9	6

【 戦評 】

1Q 両チームともマンツーマンディフェンスからスタート。浜松学院⑩関のドライブで先制。開誠館も負けじと④黒川のドライブ、⑨中田の3Pで反撃。開誠館⑤山本のターンシュートがバスケットカウントとなり、さらに開誠館⑥樋口のカットインからのレイアップを沈め、浜松学院がすかさずタイムアウト。浜松学院はなかなか得点ができず、開誠館⑤山本、⑥樋口のドライブでさらに点差を広げられるも、浜松学院⑧白井のドライブで取り返す。その後も浜松学院⑩関の1対1で反撃。開誠館⑥塩澤からチャージングを奪い流れを引き寄せようとするも、開誠館6点リードで1Qを終える。

2Q 浜松学院は⑧白井の3Pで好発進し、激しいディフェンスで守り切り、⑩関のドライブでファールをもらい、3点差まで詰め寄るが、開誠館は⑤山本の1対1や、合わせのジャンプシュートで確実に得点し突き離す。開誠館がブレイクから得点したところで、浜松学院がタイムアウトを取る。その後、浜松学院はディフェンスを2-1-2ゾーンディフェンスに切り換える。その後浜松学院は⑩足立、⑩関の連続得点で追い上げる。一方開誠館は④黒川が3Pを決めるも、その後インサイドにパスを入れられず、アウトサイドからのシュートもリングに嫌われる。互いに得点を与えず、苦しい流れのまま2Q終了。33-24で開誠館リード。

3Q 両チームマンツーマンディフェンスで後半スタート。浜松学院⑩関、開誠館⑤山本の激しいインサイドプレーとドライブで拮抗する。開誠館はドライブ&キックアウトでディフェンスを崩し、④黒川が3Pを2本連続で決め、42-26と点差を広げ、浜松学院がタイムアウトを取る。その後も開誠館⑨中田の3Pでさらに点差を広げる。浜松学院は⑩足立、⑩関を絡めたスクリーンプレーから得点を重ねるも、開誠館⑤山本を抑えられず、点差が縮まらない。浜松学院は1-2-2ゾーンディフェンスに切り換えて確実にリバウンドを奪う。開誠館は冷静にゾーンを崩し、58-34、開誠館リードで3Q終了。

4Q 浜松学院2-1-2ゾーンディフェンス、開誠館マンツーマンディフェンスでスタート。浜松学院⑩足立、④金井のコンビプレーで3Pを決めるも、開誠館のディフェンスをなかなか突破できない。その後浜松学院は④金井の3P、ブレイクからの⑤金谷からのロールシュートで流れを寄せる。開誠館はアウトサイドシュートからのリバウンドを粘り強く狙い、ボールを奪ったり、インサイドアウトでディフェンスをゆさぶり、3Pを沈め、得点をあげる。一方、浜松学院も負けじと⑩関のドライブ、④金井の3Pで食い下がる。互いに攻撃、守りの手を緩めることなく、気持ちのこもったプレーが続くが、点差が縮まることもなく、78-55開誠館が勝利する。

戦評(文責) 池野 由紀(三島南高校) 記入者 田中 康仁(吉原工業高校)